
26.2月【KAP機能】ピースマーク情報記憶3（CSV管理）



ピースマーク情報記憶3（CSV管理）

こんにちは！日本ファブテック KAPシステム部です 😊❤️

突然ですが、建造物を見て「これってどうなっているの？」と興味を引かれることってありませんか？

先日、相撲観戦に行った際、土俵の上に天井からぶら下がる屋根に目が行き、思わず圧倒されました 😲

柱で支えられていないその屋根は「吊り屋根構造」と呼ばれ、相撲が神事として行われてきた名残でもあるそうです 🏯 神様を迎える神聖な場には柱を立てない——そんな神社建築の考え方が、土俵にも受け継

がれているのだとか 🏮👤 先人の思いが今にも受け継がれて残っていくことに、ロマンを感じました 🌸

業務でも、仕組みや背景を知ること、作業がぐっとスムーズになることがありますよね 🔍

さて今回は、日々の業務で役立つ『**ピースマーク情報記憶3（CSV管理）**』についてご紹介します 🙌

【ピースマーク情報記憶3とは】

ピースマークの管理をCSVで行う機能です

【メリット】

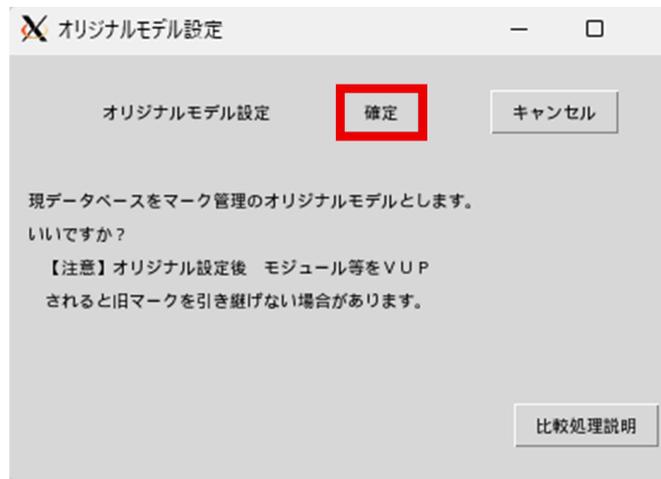
従来のピースマーク管理では「外周形状での比較」「範囲内の指定した属性を固定」「加工ログにて個々に選択」などがありましたが、CSVにてピースマークを管理出来るようになりました。

これにより、Excelのソート機能で製品マークや工区、節、属性などを指定する事で、1節のシャフト部分のピースのみや指定した製品マークのピースのみ固定化などを簡単に行う事が出来ます。

1 オリジナルモデル設定

モデル作成後 オリジナルモデル設定にて、比較元のモデル情報を保持する

 モデル → オリジナルモデル設定



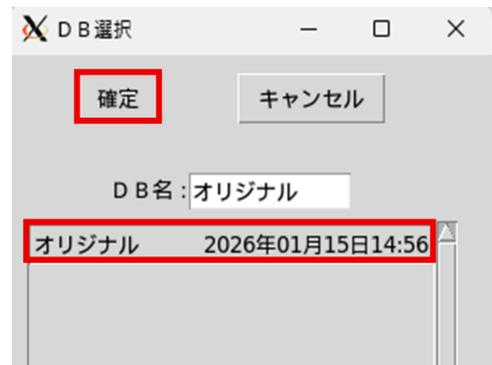
2 スタートデータ修正

断面変更や板厚変更など、スタートデータ修正後にモデル作成を実行する

3 CSVファイル出力

① で作成した比較対象のオリジナルモデルを選択し、CSVファイルを出力する

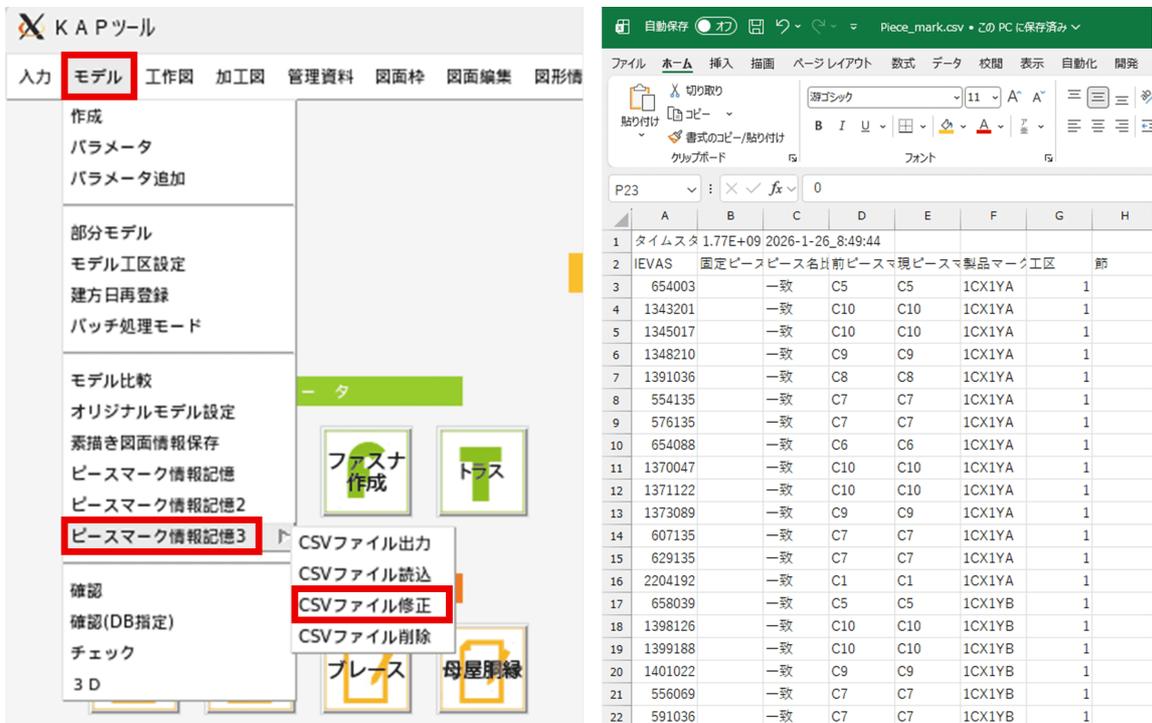
🖨️ モデル → ピースマーク情報記憶3 → CSVファイル出力



4 CSVファイル修正

③ で出力した「Piece_mark.csv」が開く

🖨️ モデル → ピースマーク情報記憶3 → CSVファイル修正

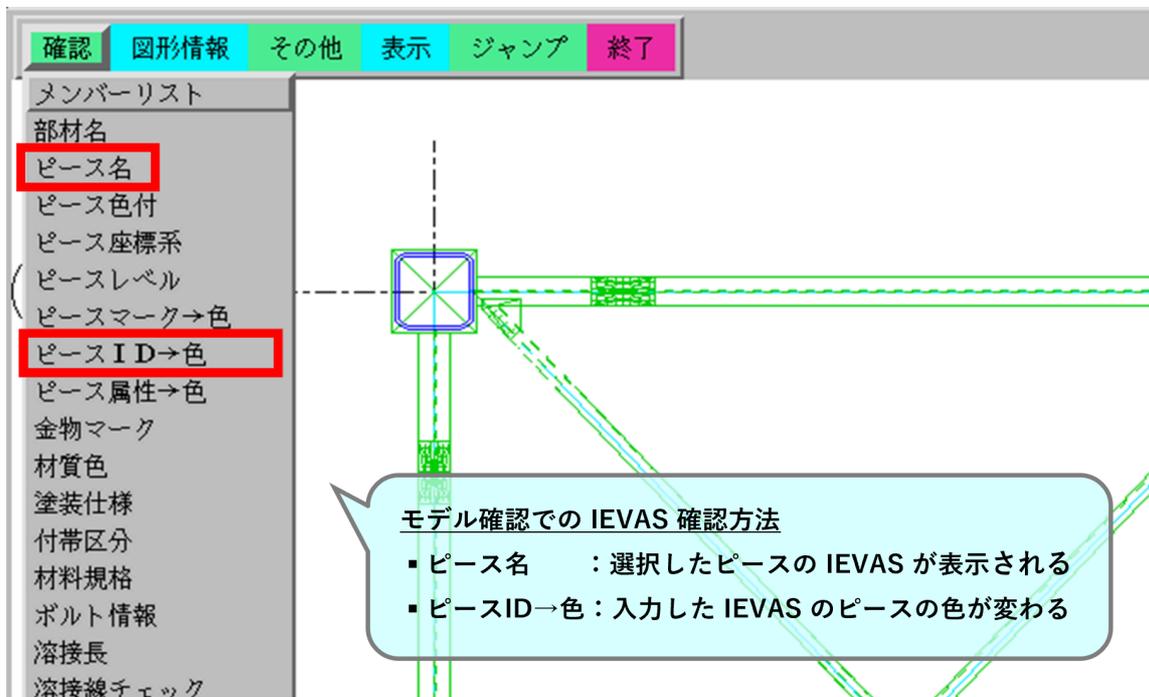


5 CSVの修正

固定したい場合は [固定ピースマーク] の欄にピースマークを記載する

①	②	③	④						
タイムスタ	1752716386	2025-7-17_10:40:1							
IEVAS	固定ピースマーク	ピース名比較	前ピースマーク	現ピースマーク	製品マーク	工区	節	フロア	部材種別
439039	C1	一致	C1	C1	1C1A	1		BASE	本柱
439088	C501	⑤ 一致	C501	C501	1C1A	1		BASE	本柱
726003	C401	一致	C401	C401	1C1A	1		RFL	本柱
727056	C401	⑥ 一致	C401	C401	1C1A	1		RFL	本柱
731105		⑥ 不一致	C301	C601	1C1A	1		RFL	本柱
746036		⑦ 追加ピース		C201	1C1A	1		RFL	本柱
428135		一致	C101	C101	1C1A	1		RFL	本柱
440061		一致	C1	C1	1C1B	1		BASE	本柱

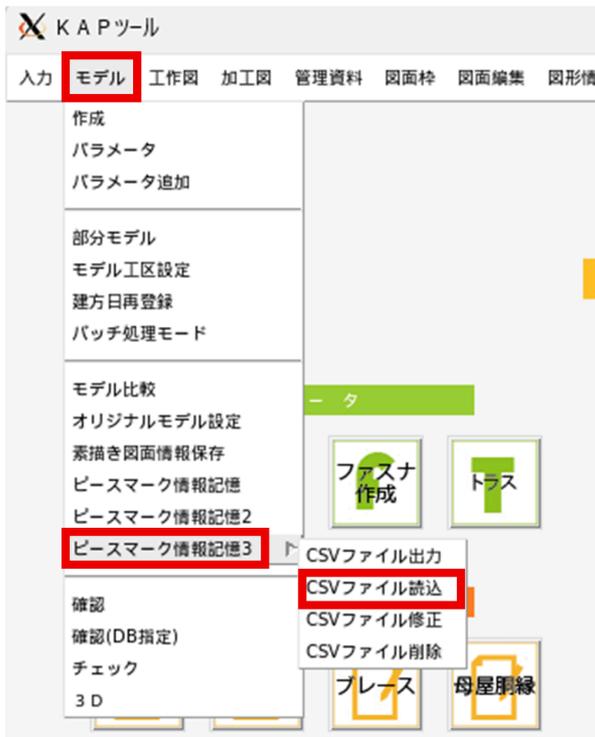
- ① IEVAS・・・ピース特有のユニークID（モデル確認などでIEVASの確認が可能）
- ② 固定ピースマーク・・・固定ピースマーク行のセルに入力したピースマークは以降固定され、再度CSVを出力した際にも記載されている
- ③ 前ピースマーク・・・オリジナルモデルに設定済みのピースマーク
- ④ 現ピースマーク・・・最新データのモデル作成にて割り振られたピースマーク
- ⑤ 一致・・・前ピースマークと現ピースマークが一致
- ⑥ 不一致・・・前ピースマークと現ピースマークが不一致
- ⑦ 追加ピース・・・前ピースマークがなく、現ピースマークのみが存在する追加ピース



6 CSVファイル読込

CSVで修正したピースマークの情報がモデルに反映される

📄 モデル → ピースマーク情報記憶3 → CSVファイル読込



※ 以降、変更時は、□ から繰り返し

以上『ピースマーク情報記憶3 (CSV管理)』の操作方法についてご紹介しました📖

今後の業務にお役立ていただけましたらうれしいです！

最後まで読んでくださり、ありがとうございました😊

次回配信予定は 3月2日(月) となります。ぜひ楽しみに🌈🎉